

各部会の報告（事務局会議実施日：令和7年7月3日時点）

※前回の開催については、報告済みの会議は除きます。

精神保健部会		
前回の開催内容報告	令和7年6月18日（水）13：30～15：00	参加人数 30名
今月の内容は、話題提供として「心神喪失者等医療観察制度について」釧路保護観察所社会復帰調整官 新田氏より、制度の概要説明と事例を通した検討等を実施した。 報告内容としては、医療観察制度の概要と内容について、審判や指定入院医療機関における医療、地域社会における処遇、事例紹介の報告があった。 社会復帰調整官による生活環境調査の際、本人の心情をしっかりと聞くこと、また、対象者が地域で生活するために様々なサービスや制度を利用することで、会議の開催等で地域の協力や他機関とのつながりが重要なことが理解できた。 北海道に専門の入院機関ができたことで、今後退院するケースが増えてくると、関係機関との退院調整が円滑に進むことを共有できた。 事例紹介では、自身が精神的な病気の理解をし、治療に向けて入院や外泊訓練をしていくことや本人の希望する一般就労を目指し、医療観察終了に向けて、その後の支援体制の検討、役割分担を関係者と協議しながら支援していくこと等、具体的に学ぶことができた。 情報交換では、医療からは、医師不足についての報告があり、十勝全体の医療の地域体制について課題として共有をした。		
次回開催予定		
令和7年7月16日（水）13：30～15：00 多目的ホールにて		

こども支援部会		
前回の開催内容報告	令和7年6月11日（水）13：30～15：30	参加人数 61名
今年度の部会長に帯広あおぞらの林氏を選任し、承認された。帯広市地域自立支援協議会について、こども支援部会についての説明を事務局より行った。 発達支援の地域課題について、こども支援部会構成員への事前アンケートの結果から、「連携」「教育と福祉の連携」「困難ケースへの対応」「支援の中で大事にしたいこと」の4テーマでグループを作成。参加者がグループワークを行い、課題の共有や検討、情報交換を行った。		
次回開催予定		
R7年10月を予定		

医療的ケア児等支援検討部会		
前回の開催内容報告	令和7年6月24日（火）14：30～16：00	参加人数 24名
今年度の部会長に帯広第一病院の植竹氏、副部会長に十勝リハビリテーションセンターの江川氏を選任し、承認された。帯広市内の医療的ケア児・重症心身障害児・18歳以上の重度心身障害者について事務局から現状報告をした。 また、令和7年度の活動について、①生活サポートブックの配布・活用の促進、②医療的ケア児等の「災害対策」についての取り組み、③医ケア児等が地域で安心して生活するための啓発活動、④移行期医療に関する取り組みを行っていくこととした。 「災害対策」について、帯広市危機対策課の講話を聞き、福祉避難所や個別避難計画等について帯広市の防災についての現状を確認した。		

次回開催予定

事例検討・サポートブック・移行期医療プロジェクト

令和 7 年 7 月 15 日（火）14：30～ 保健福祉センター 3 階 視聴覚室

医療的ケア児等支援検討部会

令和 7 年 10 月 7 日（火）14：30～ 保健福祉センター 3 階 視聴覚室

住まいの部会

前回の開催内容報告

令和 7 年 6 月 17 日（火）10：00～12：00

参加人数 35 名

「災害について～いざという時の備え、対応について」をテーマに、帯広市危機対策課の浜田氏を講師に防災出前講座を実施した。その後、参加者がグループになり、各事業所から持ち寄った避難計画や講座の内容に基づき、各事業所で実際に行っていることや課題等について情報交換を行った。

参加者にとって、災害時の避難や事業所間での協力体制の作り方を知る機会となったほか、事業所が抱える課題が明確になったことで、いざという時にどのような行動をとるべきか改めて考える機会になった。

次回開催予定

令和 7 年 10 月 22 日(水) 時間未定